

福武ハウス
瀬戸内国際芸術祭2022 公式イベント

ふきた よまつり
葺田夜祭開催のお知らせ

福武ハウス(小豆島町福田地区、香川県)では、瀬戸内国際芸術祭 2022 夏会期の最終日 2022年9月4日(日)に、瀬戸内国際芸術祭 2022 公式イベントとして、福田地域のお祭り「葺田夜祭(ふきたよまつり)」を開催します。地域住民による屋台の出店、影絵師川村亘平齋による影絵の上演や、作曲家石田多朗による音楽のライブ公演を実施し、地域住民とアーティストが今年できた島の「実り」を持ち寄ります。



影絵公演イメージ



ロゴ

公演について

葺田夜祭(ふきたよまつり)は、地域住民による屋台の出店、影絵師川村亘平齋(かわむら こうへいさい)による、影絵の上演や、作曲家石田多朗(いしだ たろう)による音楽のライブ公演を実施します。影絵師の川村は、2020年から福武ハウスの取り組みに関わり、福田でのフィールドワークや福田地域住民と交流を重ねてきました。今回の公演では「妖怪かぼそ」を軸に、福田だけでなく小豆島に纏わる物語を影絵として上演。公募で影絵の出演者を募り、島外から集まった7名の参加者が8月29日～9月4日まで福田に滞在し、アーティストとともに地域のリサーチやフィールドワークを行うことを通じて住民と交流、地域の文化的背景や魅力を知り、この場所で体験したことを影絵公演として披露します。石田は地域の人の中に残る音楽や歌を題材にしつつ、現代的なアレンジを加えた音楽の公演を行います。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 太田・宮重
〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011
E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <https://benesse-artsite.jp/>

開催概要

- 日時 : 2022年9月4日(日)16:00～
- 開場 : 福武ハウス(体育館) 香川県小豆群小豆島町福田甲718の1
- 出演 : 影絵公演「福田うみやまこばなし 2022 - かぼそ雑記」
川村亘平斎(影絵師)、トンチ(スティールパン奏者)、カメイナホコ(音楽家)、福田影絵団

音楽公演「ドンス」

石田多朗(作曲家)、小野雄大(音楽家)、小林武文(パーカッション)、高岡大祐(チューバ奏者)

■タイムテーブル

- 16:00～ 屋台出店
- 16:00～17:00頃 チンドン演奏
- 18:00～20:00 影絵と音楽の公演(有料)

■影絵と音楽の公演について

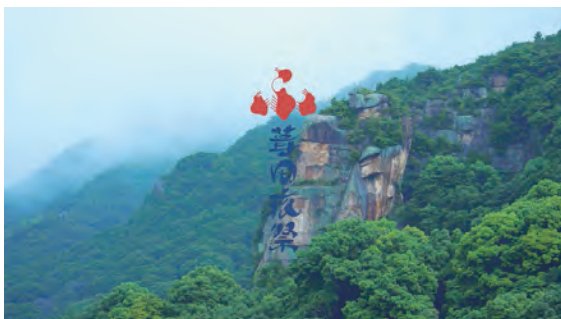
- 定員 : 150名
- 料金 : 一般2,500円 小豆島島民1,000円 15歳以下無料
- 事前にオンライン、もしくは電話で予約受付
<https://fukitanomoriterrace.stores.jp/>
0879-62-9301(瀬戸内国際芸術祭2022会期中) 9:00～17:00

- 屋台出店 Kaina(焼き菓子、ドリンク他)、はるや(ピザ)、TrackTruck×ata rangi(フィッシュ&チップス)、炭火焼き鳥ヒラク(焼き鳥)、福田自治連合会(射的、ヨーヨーつり)、葺田の森テラス(フードドリンク)他

■お問い合わせ

福武ハウス 0879-62-9301(瀬戸内国際芸術祭2022会期中) 9:00～17:00

予告動画



<https://www.youtube.com/watch?v=c2uTJyaFDYw>



<https://www.youtube.com/watch?v=b84Kslwgz8s>

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>

舞台公演について

影絵公演「福田うみやまこぼなし2022-かぼそ雑記」



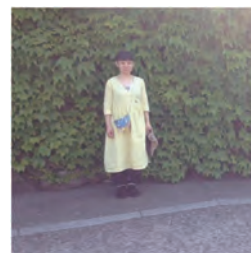
川村 亘平齋 (影絵師/音楽家)

インドネシア共和国・バリ島に2年間滞在し、影絵人形芝居【ワヤン・クリット】と伝統打楽器【ガムラン】を学ぶ。アジアを中心に多くの国々で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。



トンチ (スティールバン演奏)

1998年にスティールバンに出会い、「弾き語り」というスタイルで活動を始める。発祥国トリニダードトパゴのオーケストラに加入(2005)現地でも演奏、ツアーを行う。



カメイナホコ (音楽家)

ピアノ、シンセサイザー、クラリネット、ソプラノサクソなどを使い自由に演奏する音楽家。3歳よりピアノを学び、2002年よりハルモニウムやバスクラリネットを用いた即興演奏の活動を開始する。

音楽公演「ドンス」



石田 多朗 (作曲家)

東京藝術大学音楽学部在学中より森美術館、ポンビドゥーセンター、伊東豊雄建築ミュージアム、東京都美術館での展覧会、またユニクロをはじめとした企業広告等、環境や映像のための音楽を制作。



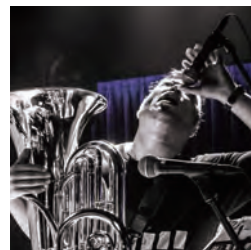
小林 武文 (パーカッション)

ドラムセットの他、和洋様々な打楽器類を演奏。現在は自身のグループ「琴鼓'n管」の他、林正樹リーダーの「間を奏でる」、小川美潮フ・タウタフ、大友良英スペシャルビッグバンド、sardine head、ludus tonalis等のユニットで活動中。



小野 雄大 (音楽家)

1990年生まれ、新潟県出身。関東・新潟を中心に弾き語り・バンドセットでライブ活動中。2020年に全国流通盤「素粒子たち」を発売。地道な活動で各地でロコ密的に広がりにライブに定評がある。



高岡 大祐 (チューバ奏者)

低音金管楽器 tuba の限界と常識を突破するアウトサイダー tuba 奏者。時には電子音的変調のようなエフェクティブなサウンドを肉体のみを駆使した非電化生音で発生させ、本来 tuba が存在しない音楽を中心に演奏活動を続ける。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>